

2023.11.22

郡山市立 日和田小学校 NEWS LETTER

文責 関 忠昭 Vol. 7

Pick Up 持久走記録会



(新コースでブロックごと実施の「持久走記録会」)

少年の主張 & JAまつり

発表

* 11月 * (霜月:霜が降り始める仲冬)

遅い秋を感じる間もなく、季節は一気に冬へと移り変わってきました。インフルエンザなどの感染症に注意しながら、今年の締めくくりに取り組んでいます。

日和田地区少年



同日、日和田公民館で行われた「少年の主張大会」に、6年生2名が出場しました。化石燃料の使用による平均気温の上昇や、電気代の高騰を受けた節電への取組等環境問題について考えを

発表しました。同日、日和田公民館で行われた「少年の主張大会」に、6年生2名が出場しました。化石燃料の使用による平均気温の上昇や、電気代の高騰を受けた節電への取組等環境問題について考えを

11月11日(土)に、JA日和田支店で「JAまつり」が開催され、オープニングセレモニーで、本校「ひなたWINDS」が演奏しました。強風の中で、「名探偵コナン」など3曲を披露しました。※演奏動画は、本校インスタグラムで配信中です。

行事

新コース 持久走記録会

10月30日、11月1日・2日の3日間、低・中・高のブロックごとに持久走記録会を実施しました。

今年度は、これまでの校庭を周回するコースから、下校庭をスタートして上校庭でゴールする「新コース」で実施しました。校庭が2つある好条件を生かし、上校庭を「陸上競技場」に見立て、レース感覚で走る楽しさを味わってもらおうという試みです。

当日は60名を超える「PTA学校応援団」の皆様にも、コース誘導やゴール後の案内などご協力いただきました。

たくさんのご支援とご声援、ありがとうございました。

民話

語り部 民話教室

10月24日、品竹から3日間にわたり、品竹悦子様を講師にお迎えし、全学年で「民話教室」を行いました。学年に応じて地元で伝わる民話や安積開拓の話、ちよつぴり面白くてちよつぴり怖い山姥のお話などの他、手遊び唄なども入れながら、民話の世界を楽しみました。本を持たない「素話」ですが、独特の柔らかい語り口にお話のイメージを膨らませ引き込まれていった子どもたちからは、笑いこぼれ、拍手が沸き起こっていました。



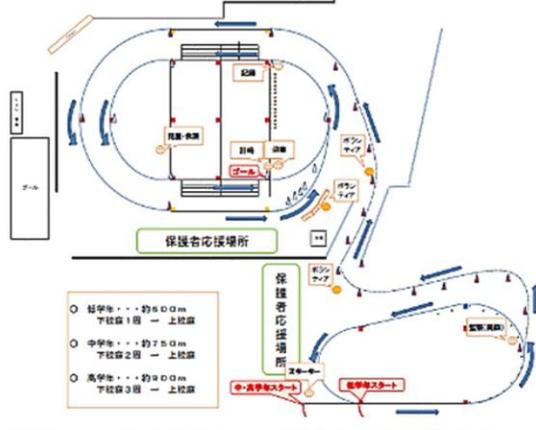
行政との連携 防災出前授業

防災

11月15日(水)に、福島県庁危機管理課の紺野稜人様を講師に、3年生で「そなえるふくしま防災出前授業」を行いました。防災ガイドブック等を用いた防災講座や、防災VR体験等を通して、頻発化・激甚化する自然災害にどのように対応したらよいか、必要な備えや心構えを学びました。防災クイズでは、津波の海底での速さはジェット機並みと知り、自然災害の怖さを改めて感じていました。



持久走記録会 会場図





「体づくり運動」教室

11月14日・15日に、2・5年生

が福島ファイヤーボンズ強化育成部
ユースコーチの 新屋敷 凛様に、

「体づくり運動」を指導していただきました。
自分の体(体力・筋力・柔軟性など)に向き
合い、体を動かす楽しさや心地よさを味わい
ながら、体をほぐしたり体
力を高めたりする運動を学
びました。

両手の指を回す運動だ
けで、体の緊張がほぐれリ
ラックスすることを体感
した子どもたちからは、驚
きの声が上がっていました。



* 地域企業の協力 *

地域学校協働活動

「電池について学ぶ」教室



11月15日に、東北村田製作所の8名の
方々が、5・6年生に「電池について学ぶ」
特別授業を行ってくださいました。

乾電池の他、バッテリー、ボタン電池、リチ
ウムイオン電池など、身の
回りの様々な電子機器にいろ
いろな電池が使われているこ
とを知り、私たちの生活に欠
かせないものであることに気
づかされました。

その後、電池作りキットで
乾電池作りに挑戦しました。



コラム Column

名言

“期待は応えるものじゃない 超えるものだ”

見る者に夢と勇気をくれる稀代のスーパースター大谷翔平選手。全
国の小学校にグローブを寄贈するという報道に、子どもたちも大喜び
でした。彼の生き方…誰にも作れない最高の教科書を振り返ります。

2018年、デビューに向けオープン戦に臨んだ彼は、思うように対
応できず苦悩していました……。

◆打者：打率 .125 本塁打 0本 ◆投手：防御率 27.00点
メジャーでも二刀流を目指していた彼でしたが、投・打ともに散々
な結果でした。野球の神様ベブルース以来の挑戦に、懐疑的な声
が多かったこともあり、一部メディアでは「マイナー(2軍)起用すべ
き」との厳しい声も上がっていました。

そんな彼に、メディアは、嘲笑するように、こう問いかけます。
「結果が出ないのは、期待に応えようとするプレッシャーですか」
すると彼は、すかさずこう答えます。

「期待は応えるものじゃない。超えるものだ。」

この言葉を聞いたとき、私は、震えるほどの感動を覚えました。不
調にあえぎ出口も見えない…、見知らぬ土地で不安に押し潰されそ
うなときの言葉です。どんなに窮地に追い込まれても自分を信じ続ける
強い心。ここに彼の常識を超えた活躍の原点があるように思います。

その年、新人王に輝き、肘の手術後…、2021年、オールスターに
史上初の投・打二刀流で出場、本塁打46本、投手9勝、投打5部門
での100超え「クインティプル100」を達成し、満票でア・リーグ
MVPに。2022年、本塁打34本、投手15勝、メジャー史上初の
「トリプル150」。規定投球回・規定打席の「ダブル規定到達」。

2023年、WBC優勝の感動で幕を開けた今年、ついに日本人初の
ホームラン王を獲得、またも満票で2度目のア・リーグ MVP に輝き
ました。彼の活躍は、まさに期待を大きく大きく超えるものでした。

これまで、「無理だ」と誰も挑戦すらしなかった投打二刀流。彼
は、常識や前例ではなく、自分がやりたいことを追い求めました。彼の
生き方は、私たちに忘れかけていた大切なことを思い起こさせてく
れます。「先入観は、可能を不可能にする」という彼の言葉を、私た
ち大人がもっと真剣に受け止めなくてはならないと感じています。

“夢は大きい方がええねん 見失わないから” by 明石家さんま



祝 MVP・ホームラン王

出典：ロイター

出典：共同

12月の行事予定

- 4日(月)～6日(水) 教育相談 (B案)
- 7日(木) がん健康教室 (6年)
- 7日(木)～12日(火) 学期末短縮 (B案)
- 8日(金) 書初め教室 (4・6年)
- 11日(月) 校外子ども会 (13:40 下校)
- 13日(水) ヒップホップD教室 (3・5年)
- 15日(金)～21日(木) 吹奏楽部・合唱部ウィンターコンサート
- 20日(水) 書初め教室 (3・5年) ヒップホップD教室 (1・4年)
- 22日(金) 2学期終業式 (B案4校時給食なし)
- 28日～1月3日 学校閉庁日

*** お弁当の日 ***
12月はありません
※ 22日(金)は給食なし

